

# 「Future & Past」

2020年度 夢見る大切さ推進室

副理事長 大西 貴明

人は困難な経験をした時ほど成長しますが、これぐらいでいいと思えば後退していきま  
す。困難な場面でも「自分の成長の糧になる」と思えばたいていのことは乗り越えられます。

また、私たちは一年を通して様々な活動をしますが、内部だけに留まり独りよがりになっ  
てしまう事もおおいにあります。現在では広報や発信ツールは様々で外部に我々の運動を  
発信するにも手段はたくさんあります。何が適しているかまた何を発信するかを決定し実  
行していきましょう。

私たちは組織として共有できる夢をもちそれを語り合い、強固なモノにして未来につな  
げる責務があります。

数年、十数年先の未来を見据え多角的な視点を持ち多様性を受け入れることで会社も組  
織も強くなっていきます。我々一人一人の成長が組織や会社の成長への一歩です。

時代とともに伝承と変革を決め、現在をしっかりと踏みしめ夢への一歩を踏み出しましよ  
う。